番号	4-3-2	表題	下水道施設におけるピークシフトを活用した電気料金の縮減について Reduction of Electricity Costs at wastewater treatment facilities by Implementation of “Peak Shift”

内　容	2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災後、大量の電力を使用している東京都下水道局は、電気料金値上げの影響を大きく受け、電気料金の縮減が急務である。 電気料金の縮減対策で最も効果的な対策は、「ピーク時間調整契約」を活用した「受電電力のピークシフト」である。「ピーク時間調整契約」とは、電力需要がひっ迫する夏季 13～16 時（ピーク時間帯）の受電電力を抑制すると電気料金が割引かれる電力会社の料金メニューである。 ピーク時間帯での受電電力を抑制する、すなわちピークシフトの様々な取組として、水処理設備の運転時間の変更や運転台数の絞り込み、ナトリウム・硫黄電池の活用などについて報告する。			
キーワード	東日本大震災、電気料金の値上げ、受電電力のピークシフト、電気料金の縮減			
処理区名			位置区分	ポンプ所、水再生センター
職種区分	設備		施策区分	維持管理向上、効率化
状態区分	維持管理		新規性	
実施年度	平成 25 年度		全体期間	
担当部署	施設管理部　施設管理課　維持担当			
発 表 履 歴	局内			
	局外	IWA LESAM 2015（国際水協会　戦略的アセットマネジメント会議）　横浜		
調査方法	直営調査			
関連情報				